

令和7年度 山梨県ボランティア協会 事業計画書

I はじめに

1977年(昭和52年)1月28日、任意団体として発足した山梨県ボランティア協会は、1999年(平成11年)3月15日、特定非営利活動法人(NPO法人)としての認可を得て、2027年(令和9年)1月28日、創立50周年を迎えます。

この間、経済成長を得て地域課題は多様化し、それに呼応する形でボランティア活動への関心が高まり、阪神・淡路大震災を契機に、ボランティアは社会に不可欠な力として認識されるようになりNPO法の制定につながりました。

東日本大震災や新型コロナウイルス感染拡大の時においても、ボランティアやNPOが重要な役割を果たしました。

近年では、SDGsの達成に向けても、ボランティアやNPOが多様な主体と連携し、地域に根ざした活動が展開されつつあります。

このような変遷を受けて山梨県ボランティア協会も変化してきました。
2年後に創立50周年を迎える今だからこそ、次の50年を見据えて何をすべきなのか。
会員のみなさんと真剣に議論し、考え、実行し、変化していきたいと考えています。

II 法人運営会議の充実強化

監事会	年1回	4月30日			
通常総会	年1回	5月24日			
理事会	年4回	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
戦略会議	随時				

III 法人体制の基盤整備

認定取得
会員拡大と会員との連携強化
役職員体制の整備

IV 関係機関・団体等からの委嘱・要請対応事業

委員委嘱

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| ①やまなし地域づくり交流センター運営委員協議会 委員 | ⑤公益財団法人長田ふるさと財団運営委員会 委員 |
| ②環境パートナーシップやまなし 委員 | ⑥公益財団法人鈴木助成事業財団 評議員 |
| ③山梨県障害者福祉ふれあい会議 理事 | ⑦中央ろうきん助成制度「カナエルチカラ」 選考委員 |
| ④公益財団法人山梨みどり奨学会 理事 | ⑧山梨県ボラ・NPOセンター運営委員会 委員 |

後援名義

当協会への後援名義使用申請に伴う対応を図ります。

V 実施事業

1 山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業

運営する「山梨県ボランティア・NPOセンター」が担うべき役割に真摯に向き合い山梨県のボランティア・NPO活動を十分にサポートできる体制を構築します。

推進目標 情報集積 山梨県内のボランティア・NPOに関わる情報の集積
情報発信 集積した情報を誰もがわかりやすい形で整理・提供
仲介 ボランティア・NPO活動と個人・企業・団体などを仲介
サポート ボランティア・NPO活動が持続、発展するためのサポート
連携 市町村社協等と協働し課題解決のためのネットワーク構築

社会的なニーズ・要請に対応するために、事業の整理・統合を図りながら事業を実施します。

情報集積・発進・マッチング

- 1 インターネットによる情報発信事業
- 2 ボランティアNPOボード運営事業
- 3 マスメディア活用した情報発信事業
- 4 ボランティアNPO相談窓口開設事業
- 5 ボランティア活動調査

ボランティアの育成

- 6 福祉教育推進事業
- 7 NPO活動推進事業
- 8 ボランティア体験事業
- 9 スポーツボランティア育成事業
- 10 ボランティアNPO学習パンフレット発行

ボラ団体基盤強化・ネットワーク

- 11 ボランティアまちかどカフェ
- 12 やまなしV・NPOネットワーク交流会
- 13 やまなしNPOフェスタ(県民の日記念)
- 14 NPO法人設立・運営相談会
- 15 NPO支援専門家派遣事業
- 16 県内外関係機関ネットワーク強化

センター及び事業運営

- 17 運営委員会

2 ボランティア・NPOネットワーク事業

各市町村・地域におけるボランティア・NPO活動の推進を図るために、社会福祉協議会等との連携協働・ネットワークの構築を図り、ネットワークパワーで課題解決に取り組んでいきます。

- 1 市町村社協等への訪問
- 2 ボランティア・NPOの調査
- 3 課題解決のためのネットワーク構築

3 寄付文化醸成事業【きふの窓口】

山梨県ボランティア協会が「きふの窓口」となり、寄付者の意思に基づく社会貢献事業へと繋げることで、「寄付文化の醸成」と「寄付の仕組みづくり」に取り組んでいきます。

- 1 やまなしNPO情報ネット掲載(団体情報として寄付して欲しい金銭・物品を掲載)
- 2 寄付者と団体をマッチング
- 3 寄付者の情報をやまなしNPO情報やSNSなどに掲載

4 シェア文化醸成事業【シェアの窓口】

ボランティア・NPO等が単独では整備しきれないスキル(人)やモノ(物)を共有化し活用しあう「シェアの窓口」となることで、「シェア文化の醸成」と「シェアーの仕組みづくり」に取り組んでいきます。

- 1 やまなしプロポ・チャレンジプロジェクト(山梨県事業)への参画・協力
- 2 ボランティア・NPOに必要な活動機材の貸出及び物品等の活用(マッチング)
- 3 シェアーの情報をやまなしNPO情報やSNSなどに掲載

5 ソーシャルグッド消費推進事業

寄付付き商品を販売し社会貢献活動に資金提供していきます。

寄付付き商品は主に障害を持つ方が関与しているアイテムで構成することで、障がいをもつ方も支援者として活躍いただける形とし、ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の実践に取り組みます。また、寄付付き商品には、NPO等が手掛けている商品も加え金銭的な支援に取り組みます。

商品提供をいただくNPO等には、県V協の会員(パートナー)となっていいただき一緒に推進します。

- 1 オンラインストアの開設
- 2 やまなしボランティア・NPOセンター等でのアート作品の展示・販売
- 3 企業等のノベルティとしての活用促進と活用事例の紹介